

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月 24日

青森県知事 殿

提出者

住 所 青森県上北郡横浜町字雲雀平1-6

氏 名 日本ホワイトファーム株式会社
代表取締役 田中 雄一郎

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0175-78-2474

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本ホワイトファーム(株) 東北生産部生産課
事業場の所在地	青森県上北郡横浜町字雲雀平1-6
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	農業
②事業の規模	70.7億円
③従業員数	122名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・廃プラスチック類：処分業者へ委託→切断圧縮・木くず：処分業者へ委託→切断圧縮・感染性廃棄物：処分業者へ委託→焼却溶解・家畜の死体：処分業者へ委託→加熱蒸煮成型固化・廃プラスチック・鶏糞：自社再生利用→発酵肥料化及び鶏糞ボイラー原料

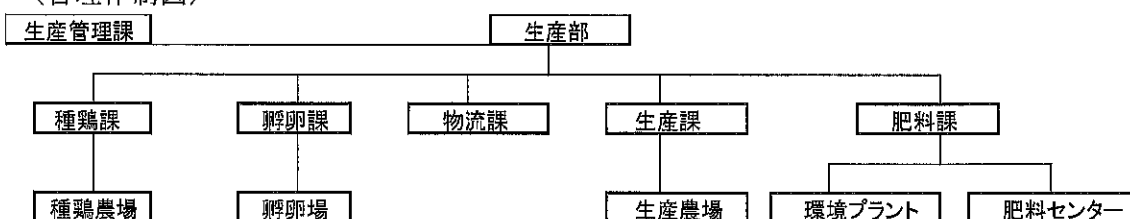


(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



木くず、廃プラスチック類、紙くず、感染性廃棄物、廃タイヤ、汚泥

責任者 → 収集・運搬業者に収集依頼 → マニフェストを発行して引き渡し

自社運搬し、処分業者に委託 → マニフェスト発行

家畜の死体は自社運搬して処理業者に委託 → マニフェスト発行

鶏糞は自社運搬して自社施設で醗酵肥料化、一部自社施設でボイラー原料利用→日報にて集計管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	41.17 t	14.69 t
	（これまでに実施した取組） 肥育管理の改善を実施。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	40.00 t	14.00 t
	（今後実施する予定の取組） 特に家畜の死体に関しては、夏場（高温期）の飼育管理を更に改善する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 金属くず、廃プラスチック類、木くずは分別を実施するとともに、他の廃棄物が混入しないように保管。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	動物の死体	ガラス陶磁器等くず	蛍光灯	混合廃棄物（廃プラ・木くず）
排 出 量	1,121.78 t	- t	- t	2.17 t

【目標】

産業廃棄物の種類	動物の死体	ガラス陶磁器等くず	蛍光灯	混合廃棄物（廃プラ・木くず）
排 出 量	1,200.00 t	1.00 t	1.00 t	2.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物（廃プラスチック・金属くず）	鶏糞紙くず混じり	動物のふん尿	感染性廃棄物
排 出 量	3.31 t	3.34 t	27,201.71 t	0.59 t

【目標】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物（廃プラスチック・金属くず）	鶏糞紙くず混じり	動物のふん尿	感染性廃棄物
排 出 量	3.00 t	3.00 t	26,000.00 t	0.50 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和 6 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	-	-	-	-
排 出 量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	-	-	-	-
排 出 量	- t	- t	- t	- t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	（これまでに実施した取組） 鶏糞堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	（今後実施する予定の取組） 現状通り		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t
②計画	（今後実施する予定の取組） 現状通り		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	動物の死体	ガラス陶磁器等くず	蛍光灯	混合廃棄物（廃プラ・木くず）
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	動物の死体	ガラス陶磁器等くず	蛍光灯	混合廃棄物（廃プラ・木くず）
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	動物の死体	ガラス陶磁器等くず	蛍光灯	混合廃棄物（廃プラ・木くず）
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	動物の死体	ガラス陶磁器等くず	蛍光灯	混合廃棄物（廃プラ・木くず）
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物（廃プラスチック・金属くず）	鶏糞紙くず混じり	動物のふん尿	感染性廃棄物
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	15,038.70 t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物（廃プラスチック・金属くず）	鶏糞紙くず混じり	動物のふん尿	感染性廃棄物
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	14,500.00 t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物（廃プラスチック・金属くず）	鶏糞紙くず混じり	動物のふん尿	感染性廃棄物
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	6,542.74 t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	12,163.01 t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物（廃プラスチック・金属くず）	鶏糞紙くず混じり	動物のふん尿	感染性廃棄物
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	6,500.00 t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	12,000.00 t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	（これまでに実施した取組） 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	（今後実施する予定の取組） 特に実施していない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全 処 理 委 託 量	41.17 t	14.69 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	（これまでに実施した取組） 委託基準に従って、産業廃棄物処理を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。		

(第4面) - 2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和 6 年度)実績】

産業廃棄物の種類	動物の死体	ガラス陶磁器等くず	蛍光灯	混合廃棄物(廃プラ・木くず)
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	動物の死体	ガラス陶磁器等くず	蛍光灯	混合廃棄物(廃プラ・木くず)
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和 6 年度)実績】

産業廃棄物の種類	動物の死体	ガラス陶磁器等くず	蛍光灯	混合廃棄物(廃プラ・木くず)
全処理委託量	1,121.78 t	- t	- t	2.17 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	1,121.78 t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物（廃プラスチック・金属くず）	鶏糞紙くず混じり	動物のふん尿	感染性廃棄物
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物（廃プラスチック・金属くず）	鶏糞紙くず混じり	動物のふん尿	感染性廃棄物
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物（廃プラスチック・金属くず）	鶏糞紙くず混じり	動物のふん尿	感染性廃棄物
全処理委託量	3.31 t	3.34 t	- t	0.59 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	0.59 t
再生利用業者への 処理委託量	- t	- t	- t	0.59 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	-	-	-	-
全 処 理 委 託 量	- t	- t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	40.00 t	14.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 可能な限り優良認定処理業者から委託先を選定する。また、再生利用、熱回収が可能な廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理を委託する。		
※事務処理欄			

【目標】				
産業廃棄物の種類	動物の死体	ガラス陶磁器等くず	蛍光灯	混合廃棄物（廃プラ・木くず）
全 処 理 委 託 量	1,200.00 t	1.00 t	1.00 t	2.00 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	1.00 t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,200.00 t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物（廃プラスチック・金属くず）	鶏糞紙くず混じり	動物のふん尿	感染性廃棄物
全 処 理 委 託 量	3.00 t	3.00 t	- t	0.50 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	0.50 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	- t	- t	0.50 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	-	-	-	-
全 処 理 委 託 量	- t	- t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

(第 3 面)

備考

- 1 翌年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第 2 面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1) から (14) に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1) の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1) の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1) の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4) の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理した後の量
 - (7) ⑦欄 (4) の量から (6) の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6) の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6) の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10) の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10) の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10) の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10) の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第 2 面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が 2 以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第 2 面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。